

1年	単元名	生活：たのしい あき いっぱい 国語：しらせたいな、見せたいな／てがみで しらせよう	生活 4 時間 国語 2 時間
単元の目標		◎秋の木の実や色づいた木の葉を集めたり、集めたものでおもちゃを作ったりして、秋に親しむ。 ○2年生が書いたおもちゃの作り方の説明文を読んでおもちゃを作ることで、2年生へのかかわりを深める。	
日本語の目標		○秋に関する物の名前や現象を知る。「どんぐり」「まつぼっくり」「もみじ」「いちよう」「こうよう」「らくよう」など ○順序を示す表現を知る。「まず」「つぎに」「それから」「さいごに」など ○工作に関する言葉を知る。「切る」「はる」「はりつける」「(糸・ひもを)むすぶ」「まきつける」「とめる」など	
学習課題		2年生が書いたおもちゃの作り方の説明文を読んで、秋のおもちゃを作り、秋の楽しさを味わう。	
主な学習活動		秋の木の実や色づいた木の葉を集め、集めたものでおもちゃを作って遊ぶ。	

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題をつかむ 庭に出て、秋の木の 実などをさがす	めあて <u>あきを さがそう</u> ①夏にはなかったもの、秋になると見つかりそうなものは何かを Google Classroom で話し合う。 ②保護者といっしょに、秋の木の实や紅葉した葉などを探す。 ③秋の木の实や紅葉した葉などを見つけたら、色や形、大きさ、触った感じ、見つけた場所などを絵や言葉で記録する。	・外に出る際には、必ず保護者といっしょに活動することとする ・帽子や肌をカバーする服装、虫よけスプレーなどを用意し、安全に活動させる
	家庭学習課題	家の近くだけでなく、学校や公園でも秋を探す。	・必ず保護者と一緒に活動する。
国 1	学習課題をつかむ	めあて <u>みつけた「あき」を おともだちに しらせよう</u> ①見つけた秋の木の实や紅葉した葉などの中から友達に知らせたい物を選び、生活科の時間に記録した絵とメモを見て、文章に書く。 ②書いた文章を声に出して読み返す。 ③字の使い方などで間違っているところがあれば直す。Google Classroom に提出する。 ④提出された作品を読み合う。	・読み手を意識して書くことで、目的をもって書くことができるようにする。 ・直接会えなくても、共に授業に参加している友達に伝え合うことで、互いを認め合うことができるようにする。
2	学習課題をつかむ 前時や週末、平日に 見つけた秋らしいもの を発表し合う	めあて <u>みつけた あきを しょうかいしよう</u> ①どこで、どんなものを見つけたのか簡単に紹介し合う。 ・ブナ科の木の下には、様々な種類のどんぐりが見つけられることに気づく。 ・秋には紅葉したり落葉したりする木があることに気づく。 ②自分が見つけたものと友達の見つけたものを比べ、なにか分けをする。	・様々などんぐりや殻斗を比べ、どんぐりといっても、いろいろあることを知らせる。 ・教科書のどんぐりや葉と同じものがあるか探してみる。 ・まつぼっくりやどんぐり、葉などに分ける。
3	学習課題をつかむ 作りたい秋のおもち ゃを選んで作ってみ る	めあて <u>木の实などを使った秋のおもちゃを作ろう</u> ①2年生が書いたおもちゃ作りの説明文を読んで、手持ちの材料で作れるおもちゃを選び、作ってみる。 ②完成したら、保護者に写真を撮ってもらっておく。 ③時間や材料に余裕があれば、いくつ作ってもよいこととし、他に作ってみたいおもちゃの説明文を探して読み、作ってみる。 ④おもちゃで遊び、秋の楽しさを味わう。	・どんぐりは、使う前に一度茹でて、虫が出ないようにする。 ・保護者といっしょに行き、特に刃物の取り扱いには十分注意をする。
	家庭学習課題	他のおもちゃを作るための材料や道具が手に入ったら、そのおもちゃも作ってみる。	
4	学習課題をつかむ	めあて <u>作ったおもちゃをほうこくしよう</u> ①おもちゃを作ったり、おもちゃであそんだりしたときの写真などを見せたりしながら、友だちにおもちゃを紹介する。	・紹介し合うことで、他の木の实や葉などを使ってみたいという興味をもたせたい。
国 2	学習課題をつかむ 説明文を清書する	めあて <u>2年生に「ありがとう」をつたえよう</u> ①2年生全体に対し、おもちゃの作り方を教えてくれたことに対するお礼の気持ちを手紙に書く。 ③清書してから、担任を通して2年生の Google Classroom に載せる。	・1年生が作ったおもちゃには偏りがあることが予想されるので個人への手紙ではなく、全員に対して書くこととする。 ・清書したものを Google Classroom に載せ、2年生に読んでもらう。

